

特別回報

外航組合員各位

外航船保険の成績指標の変更について

外航船保険の成績指標を変更し、2022 保険年度から導入することといたしましたので、下記のとおりご案内申し上げます。変更内容の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

記

当組合は外航船保険の引受け基本方針を以下のとおりとしています。

1. 組合員に持続可能な保険サービスを安定的に提供するために、公平で規律ある保険引受けを行う。
2. 組合員には、相互保険の精神に基づき、加入船舶につき発生した保険金、再保険料および組合運営に必要な費用を応分に分担していただく。
3. 保険料は、各組合員の過去の事故実績に基づく保険成績を基準とし、免責金額、再保険料、船種等を踏まえて加入船の引受け保険リスクに見合った額を算出する。
4. 新規契約の引受けに当たっては、組合員が期待される船舶運航の安全とリスク基準を満たしていることを確認する。

当組合は、この基本方針のうち3.に記載されている保険成績の指標を組合員の皆さまにより分かりやすく、透明性のある形で実践するために、2022 年保険年度から以下のとおり変更します。

1. 新しい保険成績指標の採用

当組合は、各組合員の保険リスクを算定するための指標として、長らくグロス・ロス・レシオを使用しておりました。この指標は各組合員のクレームの傾向は示しますが、保険引受けに際して直接・間接的に発生する各種費用が明示されておらず、これら費用を含んだ正味の保険成績を示すことができていませんでした。

そこで、より包括的で詳細な保険リスク指標として、近年多くの国際 P&I グループ (IG) 加入クラブが採用している、ネット・ロス・レシオ方式を当組合の新たな保険成績指標として採用することとしました。この新方式により、各組合員のクレーム傾向だけでなく、再保険料等組合運営に必要な費用の負担状況をより明確な形でご理解いただけるようになります。

各保険年度のネット・ロス・レシオは以下の計算式で算出されます。

$$\text{ネット・ロス・レシオ} = \frac{\text{保険金} + \text{IG 再保険料} + \text{IG プール分担金} + \text{アベイトメント分担金}}{\text{正味保険料 (年間ベース)}}$$

(参考：従前の指標)

$$\text{グロス・ロス・レシオ} = \frac{\text{保険金総額}}{\text{正味保険料 (年間ベース)}}$$

正味保険料：当該保険年度において当組合にお支払いいただいた保険料で、ブローカー手数料は含まれません。また、休航返戻金、解約返戻金および保険料変更等が反映された金額となります。

保険金：保険金総額（支払い済み保険金＋支払い見込み保険金）から、アベイトメント（後述2.参照）の対象となる保険金およびクラブ保有額（2021 保険年度は 10 百万ドル）を超過する保険金がある場合は控除します。

IG 再保険料：IG では偶発巨損事故に備えるためにプール・再保険制度を導入しています。10 百万ドル～100 百万ドルまではプールとして各クラブが保険金を分担し、100 百万ドルを超える一定上限額（2021 保険年度は 31 億ドル）までのクレームについては、超過額再保険を手配しています。最新年度の IG 再保険プログラムについては、コーポレートサイト掲載のスキーム図 (<https://www.piclub.or.jp/about/ig>) を参照願います。

IG が手配する再保険の船種毎の料率は毎年ウェブサイト <https://www.igpandi.org/article/international-group-pooling-and-gxl-reinsurance-contract-structure-2021-have-now-been-finalised> に公表されており、この費用をご負担いただきます。

IG プール分担金：IG プールでカバーされる費用は IG 加盟クラブが分担しています。当組合では、組合員にご負担いただく各年度の IG プール分担金を、各年度の分担金額の乱高下を平準化するため、過年度の支払い実績を 5 か年の移動平均法を採用して計算します。算出された金額を、保険料と加入トン数に基づきそれぞれ 50%ずつ割り当て、外航の全加入船に配賦します。なお、現行年度については、便宜的に直前に終了した保険年度と同値を予想値として使用し、翌年以降に実績値による置き換えを行います。

アベイトメント分担金：後述の「2.アベイトメントによるリスク共同負担制度の導入」の項をご参照ください。

ネット・ロス・レシオ方式による新保険成績については、「添付資料 1. 新ロス・レコードのフォーマットおよび関連用語の定義と解説」をご参照ください。

2. アベイトメントによるリスク共同負担制度の導入

アベイトメント (Abatement. 直訳すると「軽減、緩和」) によるリスクの共同負担の仕組みを当組合の正式な運用ルールとして導入します。アベイトメントとは、偶発巨損事故に対して、当組合内で一定金額を設定し (「アベイトメント・レイヤー」と称します)、このレイヤーの対象となる保険金を、全外航組合員で共同して負担する、相互保険の精神に基づく制度です。これまで、偶発巨損事故の保険金については全外航組合員でご負担いただいておりますが、この負担額を透明化することを目的とするものであり、組合員に新たなご負担を生じさせるものではありません。

アベイトメント導入のメリットは、組合員が大型事故に遭遇した場合、組合全体でリスク負担を行うことにより、当該組合員の保険成績の急激な悪化を緩和し、事故の影響による保険料の増加額を抑制する

ことができる点にあります。

アベイトメントは、一事故あたり 3 百万ドルを超過する全てのクレーム（ただし、免責金額適用後）に対して適用され、事故発生保険年度のクラブ保有額（現在は 10 百万ドル）に達するまでの金額がアベイトメント・レイヤーの対象となり、全加入船に配賦されます（配賦された金額を「アベイトメント・コスト」と称します）。

各組合員にご負担いただくアベイトメント・コストを、過年度においては支払い済み保険金および支払い見込み保険金に基づいて算出します。算出されたアベイトメント費用は、保険料と加入総トン数でそれぞれ 50%ずつを割り当て、按分計算により全フリートに配賦します。現行年度については、直近に終了した過去 5 か年度の平均値を予想値として使用し、翌年以降に実績値による置き換えを行います。

アベイトメントの詳細は、「添付資料 2. アベイトメントに関する Q&A」をご参照ください。

3. 保険成績対象期間

これまで、保険成績を直近の 5 か年間および現行保険年度の半年分の通算 5.5 か年を対象期間としていました。これを直近の 6 か年を対象期間とし、現行保険年度は別枠で表示し、当該年度において保険成績の大きな変動があった場合には考慮します。

以上

添付資料： 1. 新ロス・レコードのフォーマットおよび関連用語の定義と解説
2. アベイトメントに関する Q&A

添付1) 新ロス・レコードのフォーマットおよび関連用語の定義と解説

#	Policy Year	2015	2016	2017	2018	2019	2020	Sub-Total	2021	Total
a	Pro Rata Number of ships	3	3	3	3	3	3	18	4	22
b	Pro Rata Tonnage	39,654	33,698	36,913	39,395	32,418	39,543	221,621	49,903	271,524
c	Advance Call	305,750	273,305	288,215	268,938	417,573	419,077	1,972,858	293,354	2,266,212
d	Supplementary Call	122,300	109,322	115,286	107,575	167,029	167,631	789,143	0	789,143
e	Release Call	0	0	0	0	0	0	0	0	0
f	Returns	0	0	0	0	0	0	0	0	0
g	Net Premium (c+d+e+f)	428,050	382,627	403,501	376,513	584,602	586,708	2,762,001	293,354	3,055,355
h	Paid Claims	60,741	84,146	117,589	1,500,000	145,285	13,620	1,921,381	5,334	1,926,715
i	Estimated Claims	0	0	0	0	0	55,000	55,000	11,500	66,500
j	Total Claims	60,741	84,146	117,589	1,500,000	145,285	68,620	1,976,381	16,834	1,993,215
k	Gross Loss Ratio (j/g)	14.2%	22.0%	29.1%	398.4%	24.9%	11.7%	71.6%	5.7%	65.2%
l	Pool & IG Reinsurance Recoveries	0	0	0	0	0	0	0	0	0
m	Total Claims net of Pool & IG Reinsurance Recoveries	60,741	84,146	117,589	1,500,000	145,285	68,620	1,976,381	16,834	1,993,215
n	Group R/I Costs	25,407	19,901	18,619	17,870	13,635	16,340	111,772	15,195	126,967
o	IG Pool Costs	19,154	23,545	16,690	20,676	31,308	27,468	138,841	31,600	170,441
p	Total (m+n+o)	105,302	127,592	152,898	1,538,546	190,228	112,428	2,226,994	63,629	2,290,623
q	Loss Ratio (p/g)	24.6%	33.3%	37.9%	408.6%	32.5%	19.2%	80.6%	21.7%	75.0%
r	Abated Claims	0	0	0	0	0	0	0	0	0
s	Total Claims net of Pool Recoveries & Abatement	60,741	84,146	117,589	1,500,000	145,285	68,620	1,976,381	16,834	1,993,215
t	Abatement Costs		38,642	8,440	18,802	39,228	20,598	125,710	21,034	146,744
u	Total (s+n+o+t)	105,302	166,234	161,338	1,557,348	229,456	133,026	2,352,704	84,663	2,437,367
v	Net Loss Ratio (u/g)	24.6%	43.4%	40.0%	413.6%	39.2%	22.7%	85.2%	28.9%	79.8%

関連用語の和訳、定義と解説

	和訳	定義と解説
#	保険年度	Policy Yearは、直近に完了した6保険年度通算を記録対象期間として表示し、未だ完了していない最新年度は参照として別枠表示されます。
a	日割り隻数	当該保険年度の平均加入隻数(12カ月未満は按分)を示します。
b	日割りトン数	当該保険年度の平均加入GT数(12カ月未満は按分)を示します。
c	前払い保険料	当該保険年度に当組合にお支払い頂いた前払い保険料を示します。
d	追加保険料	当該保険年度に当組合にお支払い頂いた追加保険料を示します。
e	精算保険料	当該保険年度に当組合にお支払い頂いた精算保険料を示します。
f	休航返戻保険料	当該保険年度に当組合にお戻した休航返戻保険料を示します。
g	正味保険料	当該保険年度に当組合にお支払い頂いた保険料(ETC)を示します。ブローカー手数料及び各種税金等は含まれません。また、保険料減額や休航戻が発生した場合はこれらを除きます。
h	支払い済み保険金	当該保険年度にお支払した保険金(総額)を示します。
i	支払い見込み保険金	既にご通知頂いたクレームに関する支払い見積額を示します。
j	保険金合計	h + i
k	グロス・ロス・レシオ	参照として、これまでの方式(グロス・ロス・レシオ)で計算した保険成績を示します。(j÷g)(注1)
l	IG再保険からの回収額	当該保険年度に発生した事故に関して、Pool Claimとなり、IGからてん補された保険金額を示します。
m	保険金額合計(IG再保険からの回収額を除く)	j + l
n	IG再保険コスト	当該保険年度における加入船の船種別IG再保険コストを示します。
o	IG Poolコスト	当該保険年度のIGプール分担金を示します。現行保険年度の配賦額は、直近終了年度を予想値として便宜的に使用し、年度終了後に実績値による置き換えを行います。
p	合計	m+n+o
q	ネット・ロス・レシオ(アベイトメント除く)	参照として、アベイトメントによるリスク共同負担コストを除いたネット・ロス・レコードを示します。(p÷g)(注2)
r	アベイトメント対象保険金	当該保険年度に、各組合員のクレームに関してアベイトメントが適用された場合、対象となった保険金額を示します。
s	保険金合計(IG再保険/Poolからの回収額を除き、アベイトメント適用後)	m+r
t	アベイトメントコスト	当該保険年度に組合員にご負担頂くアベイトメント費用を示します。現行年度については、直近に終了した過去5保険年度の平均値を予想値として使用し、年度終了後に実績値による置き換えを行います。
u	合計	s+n+o+t
v	ネット・ロス・レシオ	アベイトメントによるリスク共同負担コストを加味した最終的なロス・レコードを示します。(u÷g)(注3)

(注1) (k) Gross Loss Ratio = $\frac{\text{保険金総額}}{\text{正味保険料 (年間ベース)}}$

(注2) (q) Loss Ratio = $\frac{\text{保険金} + \text{IG再保険料} + \text{IGプール分担金}}{\text{正味保険料 (年間ベース)}}$

(注3) (v) Net Loss Ratio = $\frac{\text{保険金} + \text{IG再保険料} + \text{IGプール分担金} + \text{アベイトメント分担金}}{\text{正味保険料 (年間ベース)}}$

添付2) アベイトメントに関する Q&A

Q01 アベイトメントとは？

アベイトメント (Abatement。直訳すると「軽減、緩和」) とは、偶発巨損クレームに対して、当組合内で一定金額を設定し (「アベイトメント・レイヤー」と称します)、このレイヤーの対象となる保険金を、全組合員で共同して負担する、相互保険の精神に基づく制度です。これまでも、偶発巨損事故の保険金については全組合員でご負担いただいておりますが、この負担額を透明化し、コストのご負担状況をより分かりやすくすることを目的とするものであり、組合員に新たなご負担を生じさせるものではございません。

Q02 アベイトメントを導入するのはなぜか？

当組合は、より包括的な保険リスク指標として、近年多くの P&I クラブが採用している、ネット・ロス・レシオ方式を新たなロス・レコードとして採用いたします。このネット・ロス・レシオ方式の採用と同時に、アベイトメントによるリスク共同負担制度を導入することにより、個別組合員のクレーム傾向だけでなく、相互保険の精神に基づく、他組合員の偶発巨損事故の共同負担金や組合運営に必要な費用のご負担状況も、従前の指標と比較してより明確な形で組合員にご確認いただけるようになります。

また、アベイトメント導入のメリットとして、組合員が不幸にして大型事故に遭遇した場合、組合全体でリスクを分散し負担することにより、当該組合員の保険成績の急激な悪化を緩和し、事故の影響による保険料の急激な変動を抑制する効果が期待できる点も挙げられます。

Q03 アベイトメントの対象となる事故は？

アベイトメントは、保険金額の定めのない外航船保険契約 (Mutual) を締結した船舶に関する事故がその対象となります。保険年度における事故件数 (全体または組合員ごと) に制限は設けません。また、FD&D 特約、用船者責任保険特約や内航船保険契約など外航船保険契約以外の契約に関する事故は適用対象外です。

Q04 アベイトメントの具体的な適用方法は？

アベイトメントは、外航保険契約 (Mutual) 外航船の保険金額が一事故あたり 3 百万ドルを超過する全てのクレーム (ただしし、免責額控除後) に対して適用され、事故発生保険年度の IG プールのクラブ保有額 (2021 保険年度は 10 百万ドル) に達するまでの金額が「アベイトメント・レイヤー」の対象として全加入船に配賦されます。配賦された金額を「アベイトメント・コスト」と称します。

具体例 ①： ある保険年度（IG プールのクラブ保有額は、10 百万ドルとします）における組合員甲の事故件数が 1 件で保険金総額（支払い済み保険金＋支払い見込み保険金）が、7.5 百万ドル（免責金額を除く）だった場合。

- まず、アベイトメント・レイヤー下限値に達するまでの 3 百万ドルが組合員甲の保険成績に保険金として算入されます。
- そして、残る 4.5 百万ドルがアベイトメント・レイヤーの対象となります。
- 組合員甲の保険金総額 7.5 百万ドルのうち、3 百万ドルが組合員甲の保険金として保険成績に算入され、残りの 4.5 百万ドルがアベイトメント・コストとして全加入船に配賦されることになります。

具体例 ②： ある保険年度（IG プールのクラブ保有額は、10 百万ドルとします）における組合員乙の事故件数が 1 件でその保険金総額（支払い済み保険金＋支払い見込み保険金）が、15 百万ドル（免責金額を除く）だった場合。

- まず、アベイトメント・レイヤー下限値に達するまでの 3 百万ドルが、組合員乙の保険金として保険成績に算入されます。
- そして、アベイトメント・レイヤー下限値からクラブ保有額である 10 百万ドルに達するまでの保険金額 7 百万ドルがアベイトメント・レイヤーの対象となります。
- 組合員乙の保険金総額 15 百万ドルのうち、3 百万ドルが組合員乙の保険成績に算入され、7 百万ドルがアベイトメント・コストとして全加入船に配賦されることになります。
- なお、IG プールの対象クレームとなる 5 百万ドルは、組合員乙の保険成績上は保険金としてではなく、IG プール分担金としてその一部が間接的に全加入船に配賦されることになります。

Q05 組合全体で発生したアベイトメント・コストの負担方法は？

当組合は、組合員にご負担を頂くアベイトメント・コストを、過年度の支払い済み保険金及び支払い見込み保険金に基づいて算出します。また、現行年度については、直近の 5 か年の平均値を予想値として使用し、翌年以降は実績値に更新されます。アベイトメント・コストは、保険料と加入トン数で 50%ずつを割り当て、按分計算により全加入船に配賦し、全ての組合員にご負担いただきます。

具体例：

- ある保険年度において全組合員で発生したアベイトメント・コスト総額が 20 百万ドル、
- 当組合の外航船（Mutual）の日割り契約トン数合計が 1 億総トン、同保険料総額が 150 百万ドルとする。
- 当該保険年度における組合員丙フリートの日割り契約トン数合計が 20 万総トン、保険料合計が 12 万ドルであった場合。

組合員丙にご負担いただくアベイトメント・コストは以下のとおり計算されます。

- 加入トン数割当分 : $20 \text{ 百万ドル} \times 1/2 \div 1 \text{ 億総トン} \times 20 \text{ 万総トン} = 2 \text{ 万ドル}$
- 保険料割当分 : $20 \text{ 百万ドル} \times 1/2 \div 150 \text{ 百万ドル} \times \text{US\$}12 \text{ 万ドル} = 8 \text{ 千ドル}$
- 合計ご負担額 : 28 千ドル (2 万ドル+8 千ドル)

以上